

平成29年度

大阪市こころの健康センター 所 報

大阪市こころの健康センター

目 次

第1 概 要

1	施設の概要	2
(1)	開設	2
(2)	所在地	2
(3)	延べ床面積	2
(4)	平面図	2
2	組織・職員	3
(1)	組織	3
(2)	職員	3
3	予算・決算	4
(1)	歳入	4
(2)	歳出	5

第2 事業実績

1	精神保健福祉センター業務	7
(1)	技術指導及び技術援助	7
(2)	教育研修	7
ア	精神保健福祉関係職員研修	7
(ア)	新任研修	7
(イ)	新任精神保健福祉関係職員フォロー研修	8
(ウ)	現任研修（全体研修）	9
(エ)	現任研修（業務の課題を解決するための研修）	9
(オ)	現任研修（事例検討を中心とした研修）	10
(カ)	新任期保健師精神保健福祉研修	11
(キ)	思春期関連問題支援者向け研修	11
(ク)	薬物関連問題従事者研修	12
(ケ)	ゲートキーパー専門研修	12
(コ)	ゲートキーパー専門研修（危機介入編）	12
(サ)	自殺未遂者相談支援事業従事者研修	13
(シ)	ひきこもり相談窓口事業研修会	13

イ	精神保健福祉関係 人材養成研修 -----	14
	(ア) 現任研修〈全体研修〉と合同で実施 -----	14
	(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業 -----	14
ウ	大阪府 精神保健福祉業務従事者研修 -----	15
(3)	普及啓発 -----	15
ア	こころの健康講座 -----	15
イ	こころのボランティア講座 -----	15
ウ	ひきこもり市民講座 -----	16
エ	思春期関連問題市民講座 -----	16
オ	薬物乱用防止対策事業 -----	16
(4)	調査研究 -----	16
(5)	技術支援 -----	17
ア	関係機関への一般相談 -----	17
イ	でかけるチーム精神保健相談 -----	18
ウ	個別支援 -----	19
(6)	精神保健福祉相談 -----	20
ア	思春期関連問題相談 -----	20
イ	薬物関連問題相談 -----	21
ウ	こころの悩み電話相談 -----	22
(7)	自殺防止対策事業 -----	23
ア	自死遺族相談 -----	23
イ	自殺未遂者相談支援事業 -----	23
ウ	ゲートキーパーの養成 -----	24
エ	自殺予防週間の取り組み -----	24
オ	自殺対策強化月間の取り組み -----	24
カ	うつ病予防の普及啓発 -----	25
キ	うつ病の家族教室 -----	25
ク	大阪市自殺対策検討連絡会議 -----	25
(8)	ひきこもり相談窓口事業 -----	26
ア	ひきこもり電話相談件数 -----	26
イ	ひきこもり面接相談件数 -----	27
ウ	ひきこもりアウトリーチ件数 -----	27

(9)	薬物依存症者等ケア強化事業	28
	ア 家族心理教育事業	28
	イ 地域における断薬継続促進モデル事業	28
(10)	組織の育成	29
(11)	精神医療審査会	29
	ア 開催状況	29
	イ 入院届・定期病状報告の審査状況	29
	ウ 退院・処遇改善請求の審査状況	30
	エ 実施審査状況	30
(12)	大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営	30
2	精神保健福祉主管課業務	31
(1)	精神保健福祉審議会の運営	31
	ア 自殺防止対策部会	31
(2)	措置・緊急措置診察（入院）業務	32
	ア 措置診察	32
	イ 緊急措置診察	32
(3)	医療保護入院等の移送事業	32
(4)	精神障がい者保健福祉手帳の交付	33
(5)	市営交通料金福祉措置	33
(6)	自立支援医療費（精神通院）の支給認定	33
(7)	精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	33
	ア 地域移行支援の実施状況	33
	イ ピアサポーターによる啓発活動	34
	ウ ピアサポーター交流会	35
	エ ピアサポーター養成講座	36
	オ 技術支援・コーディネート	36
	カ 相談支援事業への研修	37
	キ 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議	37
(8)	心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業	38
(9)	精神科救急医療体制整備事業	39
	ア おおさか精神科救急ダイヤルの設置	39
	イ 精神科救急医療情報センターの設置	40
	ウ 一次救急医療体制の整備	40

エ	二次救急医療体制の整備	40
オ	身体合併症治療体制の確保	40
カ	夜間・休日精神科合併症支援システム	42
(10)	精神保健福祉に関する予算・決算業務	44

第3 資料

1	大阪市精神保健福祉審議会 開催内容	46
2	精神医療審査会	51
(1)	運営状況	51
(2)	実地審査状況	53
3	措置（緊急措置）診察・入院状況	54
4	精神障がい者保健福祉手帳交付状況	55
5	精神障がい者保健福祉手帳所持者数	56
6	自立支援医療費（精神通院）受給者数状況	56
7	自立支援医療費（精神通院）受給者数	56
8	保健福祉センターにおける相談指導の状況	57
9	保健福祉センターにおける一般クリニックの状況	58
10	保健福祉センターにおける日常生活向上教室・生活技能訓練教室の状況	59
11	保健福祉センターにおける酒害教室の状況	60

第 1 概 要

1 施設の概要

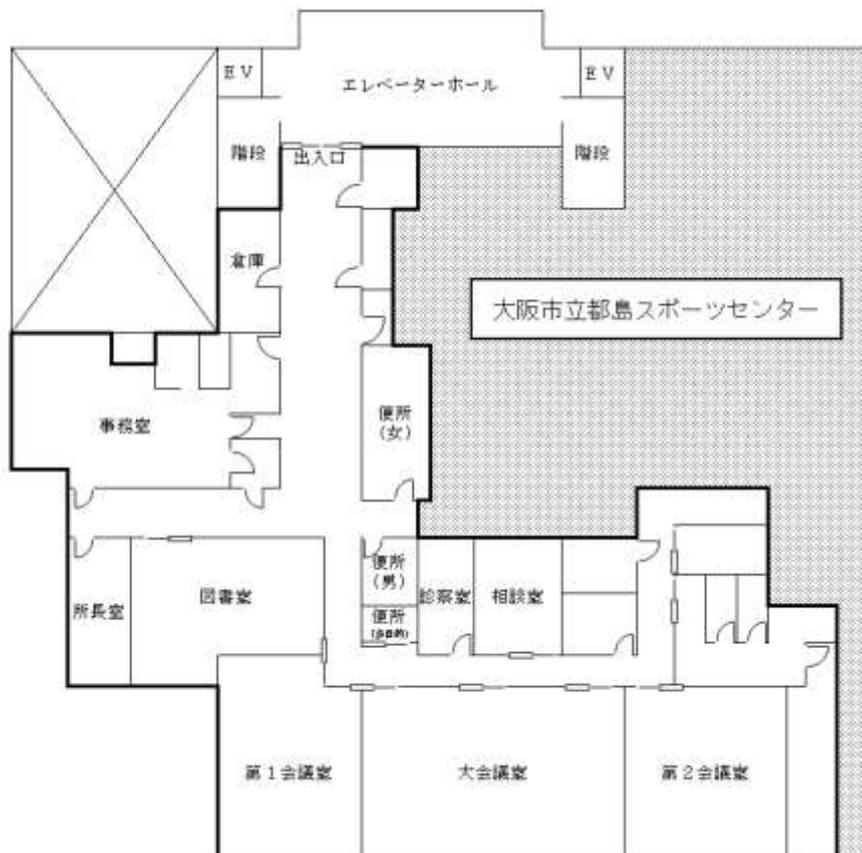
(1) 開設 平成12年4月1日

(2) 所在地 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F



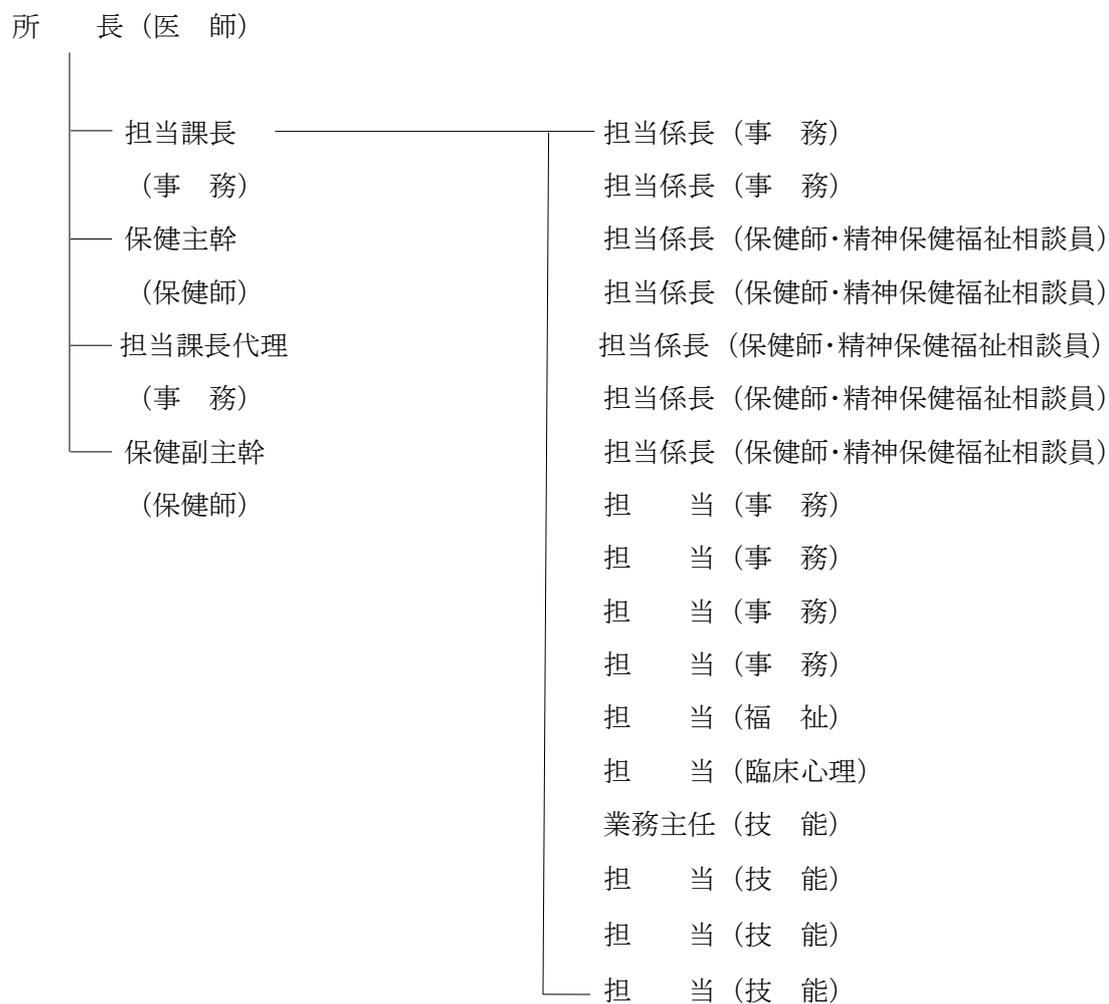
(3) 延べ床面積 992.75㎡

(4) 平面図



2 組織・職員（平成29年5月1日現在）

（1）組 織



（2）職 員

	事 務	福 祉	臨 床 心 理	医 師	保 健 師	技 能	計	精神保健福祉相談員 （再 掲）
								保 健 師
人 数	8	1	1	1	7	4	22	5

※医師2名欠員

3 予算・決算

(1) 歳入

(単位：千円)

事 項	平成30年度 予算	平成29年度 決算
使用料	672	579
でかけるチーム精神保健相談事業	32	0
精神科救急医療体制の整備事業	640	579
手数料	15	3
こころの健康センター管理運営費（診断書料）	15	3
国庫負担金	5,758,169	5,667,963
精神障がい者通院医療費	5,638,947	5,554,927
措置・緊急措置診察及び入院事業	3,916	3,479
措置入院費公費負担事業	115,306	109,557
国庫補助金	61,314	63,299
マイナンバー制度にかかる総合福祉システムの改修経費	-	1,036
こころの健康センター管理運営費	777	761
精神保健福祉普及啓発事業	25	26
思春期関連問題相談事業	215	211
薬物乱用防止対策事業	-	265
でかけるチーム精神保健相談事業	8	16
ひきこもり相談窓口事業	1,387	1,386
精神保健福祉・社会復帰相談指導事業	-	1,274
依存症対策支援事業	2,880	-
自殺防止対策事業	371	349
薬物依存症患者等ケア強化事業	36	36
精神科救急医療体制の整備事業	40,727	40,578
措置・緊急措置診察及び入院事業	13,205	17,035
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	1,683	326
府補助金	2,053	1,787
自殺防止対策事業	2,053	1,787
雑入	15	799
市営交通料金福祉措置（広告料収入）	15	0
精神障がい者通院医療費（医療費返還金等）	-	748
紙類売払等	-	51
計	5,822,238	5,734,430

(2) 歳出

(単位：千円)

事 項	平成30年度 予算	平成29年度 決算
健康総務費	33,457	38,415
総合福祉システム（福祉五法システム）運用経費	25,851	25,851
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	3,602	8,237
マイナンバー制度にかかる総合福祉システム改修経費	3,994	4,317
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	10	10
保健医療費	12,625,794	11,923,982
精神障がい者通院医療費	11,376,184	10,801,310
こころの健康センター管理運営費	43,899	33,497
精神保健福祉従事職員研修	1,035	880
精神保健福祉審議会費	207	172
精神保健福祉普及啓発事業	669	478
思春期関連問題相談事業	645	648
薬物乱用防止対策事業	-	607
でかけるチーム精神保健相談事業	24	26
ひきこもり相談窓口事業	2,773	2,773
精神保健福祉・社会復帰相談指導事業	21,284	23,010
自殺防止対策事業	5,052	3,882
薬物依存症者等ケア強化事業	252	3,073
依存症対策支援事業	5,761	-
市長入院同意患者面接事業	324	235
精神科救急医療体制の整備事業	106,174	103,737
措置・緊急措置診察及び入院事業	69,457	56,494
措置入院費公費負担事業	153,786	153,624
精神医療適正化事業	5,198	4,800
心神喪失者等医療観察法に基づく社会復帰支援事業	119	59
精神障がい者保健福祉手帳交付事業	2,514	2,073
市営交通料金福祉措置	823,602	731,811
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	6,389	611
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定	368	104
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	78	78
計	12,659,251	11,962,397

第2 事業実績

大阪市こころの健康センターでは、精神保健福祉センターの機能に加えて、精神保健および精神障がい者福祉に対する行政機能を総合的、一体的に有している。すなわち精神保健福祉法第6条及び精神保健福祉センター運営要領で定める業務の他に、措置入院の診察・移送などの業務や、精神保健福祉審議会の運営などいわゆる精神保健福祉主管課業務についても実施している。

1 精神保健福祉センター業務

(1) 技術指導及び技術援助

大阪市内には、各区に1か所、合計24か所の保健福祉センターがあり、これらは市民や精神障がい者のさまざまな相談に対応するなど地域精神保健福祉行政の第一線機関である。また精神障がい者の地域生活を支援している各機関も精神保健福祉サービスと関わる重要な機関である。当センターは、これら保健福祉センターや関係機関に対し、専門的立場からさまざまな形で積極的な技術支援および技術援助を行っている。

(2) 教育研修

ア 精神保健福祉関係職員研修

各区の保健福祉センター及び大阪市こころの健康センターの精神保健福祉相談員や事務担当職員を対象に精神障がい者の理解を深め、最新の専門的な情報や技術を習得することを目的とした研修を実施し、職員の資質の向上を図るとともに地域精神保健福祉の活動及び向上に繋げる。

(ア) 新任研修

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29. 4. 28	精神保健福祉法と大阪市の精神保健福祉行政について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長 内 田 弘 之	16人
	こころの健康センターにおける精神保健福祉業務の実際について	こころの健康センター 担当係長 西 本 清 美	
	思春期・ひきこもり・自死遺族相談について	こころの健康センター 臨床心理職員 三 谷 大 樹	
	保護申請（22条）警察官通報（23条）移送制度（34条）	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	
	市長同意事務手続き・救急医療システムについて	こころの健康センター 担当係長 三 田 敦 弘	
	自立支援医療・精神障がい者福祉手帳について	こころの健康センター 寺 尾 英 二	
	自殺対策について	こころの健康センター精神保健医療担当課長代理 西 岡 隆	
	精神医療適正化事業について	こころの健康センター 担当係長 伯 井 理 加	

29. 5. 8	問題解決技法について(演習含む)	こころの健康センター 担当係長 坂 本 裕 子 こころの健康センター 担当係長 伯 井 理 加	4人
	心神喪失者医療観察法について 精神障がい者地域移行支援について	こころの健康センター 保健副主幹 井 阪 純 子	
	自殺未遂者相談支援事業について	こころの健康センター 担当係長 西 本 清 美	
29. 5. 15	統合失調症・うつ病を中心に障がいと 疾患について 通報における自傷他害性について	こころの健康センター 所長 田 中 政 宏	13人
	保健福祉センターにおける業務につ いて	こころの健康センター 担当係長 大 畑 有 紀	
	精神保健福祉相談・社会復帰相談指導 事業等の事務手続きについて	こころの健康センター 竹 内 徹	
29. 5. 17	月報について	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	4名
	薬物相談、地域における断薬継続促進 モデル事業について	こころの健康センター 担当係長 大 畑 有 紀	
	地域精神保健福祉活動について 危機介入について	こころの健康センター 保健主幹 石 神 朋 子	

(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29. 11. 17	アルコール関連問題のアセスメン トと介入の方法について	こころの健康センター 保健主幹 石 神 朋 子	3人
	ケアマネジメント実践におけるア セスメントの意義と方法	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	
	事例検討	こころの健康センター 保健主幹 石 神 朋 子	
	各区精神保健福祉関連業務の現状 と課題及び今後の方策	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	

(ウ) 現任研修 (全体研修)

精神保健福祉の最近の動向について講義研修を実施した(精神保健福祉関係人材養成研修と合同で実施)。

年月日	講義内容	講師	参加者数
29. 8. 15	問題解決技法の実際	市立ひらかた病院 医師 齋藤 円	57人
29. 9. 20	ギャンブル等依存症について	島根県心と体の相談センター長 小原 圭司	34人
29. 10. 30	あらためて学ぶ うつ病のこと ～基礎知識から治療・支援の方法まで～	稲田クリニック 院長 稲田 泰之	60人
29. 12. 19	災害時のこころのケア	兵庫県こころのケアセンター 医師 田中 英三郎	35人
30. 1. 30	精神障がい者の権利擁護について	浅香山病院 精神保健福祉士 柏木 一恵	47人

(エ) 現任研修 (業務の課題を解決するための研修) [対象 精神保健福祉相談員]

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
29. 7. 26	アルコール関連問題のある人への支援	新生会病院 院長 和気 浩三
29. 8. 23	アルコール関連問題のある人の家族支援	新生会病院 精神保健福祉士 小仲 宏典
29. 9. 8	アルコール関連問題のある人への支援について 検討する	
30. 1. 12	研修のまとめ・評価	

B 中央・東グループ

年月日	講義内容	講師
29. 7. 10	各区の日常生活向上教室について情報交換	
29. 9. 27	日常生活向上教室でとりくめる ソーシャルスキルトレーニング	大阪保健医療大学 准教授 足立 一
29. 12. 11	プログラムの組み立ての実践と評価について	つみクリニック 精神保健福祉士 藤原 明美
30. 1. 15	研修のまとめ	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
29.7.10	アルコール依存症グループワークについて ～心理教育の手法を学ぶ～	小谷クリニック 精神保健福祉士 山本 哲也
29.8.14	医療機関でのアルコール依存症治療プログラムの 実際	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤井 望夢
29.9.13	酒害教室の今後のあり方についての検討と実践 準備	
29.12.13	研修のまとめ	

(オ) 現任研修（事例検討を中心とした研修）〔対象 精神保健福祉相談員、保健師〕

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
29.10.31	統合失調症の理解とその事例への対応	かつもとメンタルクリニック 院長 勝元 榮一
29.11.10	女性を中心にアルコール依存症を医療につな ぐまで	阪本病院 院長 大西 英周
29.12.8	ひきこもりについて事例を通して学ぶ	みこころクリニック 院長 水野 龍男
30.2.28	うつ病について事例を通して学ぶ	ほくとクリニック病院 院長 深尾 晃三
30.3.9	これまでの処遇困難事例の振り返り	

B 東・中央グループ

年月日	講義内容	講師
29.8.14	ひきこもりの病態と治療 支援のあり方	なかいクリニック 院長 中井 雄大
29.10.31	統合失調症の理解とその事例への対応	かつもとメンタルクリニック 院長 勝元 榮一
29.11.21	気分障がいの理解と支援の実際について (併存疾患を持つうつ病、産後うつ病等)	ナンバかぎもとメンタルクリニック 院長 鍵本 伸明
30.2.19	アルコール依存症の支援のあり方 ～地域と専門医療機関との連携～	ひがし布施クリニック 精神保健福祉士 黒岡 紀久子
30.3.12	処遇困難事例への対応	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
29. 10. 3	妄想性障がいと統合失調症の治療と支援について	国分病院 医師 平岡 幸栄
29. 11. 21	気分障がいの理解と支援の実際について (併存疾患を持つうつ病 ・産後うつ病等)	ナンバかぎもとメンタルクリニック 院長 鍵本 伸明
30. 1. 10	アルコール依存症の診断と治療について	新生会病院 院長 和気 浩三
30. 2. 7	ひきこもりと社会不安障害の支援について	兵庫医科大学精神神経科 医師 山田 恒
30. 3. 14	処遇困難事例の検討および今年度検討事例の経過報告と振り返り	

(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修

保健福祉センターの新任期の保健師を対象に、実践経験を基にさらに精神障がい者の理解を深め、より専門的・具体的な生活支援や個別援助に必要な知識や技術を学ぶことを目的とした研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
29. 11. 20	オリエンテーション		13人
	講義「統合失調症・感情障がいの疾患理解と支援について」	こころの健康センター 医師 松浦 玲子	
	精神障がい者の理解と支援～当事者の話から社会復帰への支援を学ぶ～	こころの健康センター 保健副主幹 井阪 純子 ピアサポーター	
	講義「アセスメントの意義と方法・社会資源の利用、地域生活支援について」	こころの健康センター 担当係長 坂本 裕子	
	事例検討（グループワーク） 発表・まとめ	こころの健康センター 保健主幹 石神 朋子 こころの健康センター 担当係長 西本 清美 こころの健康センター 担当係長 坂本 裕子	

(キ) 思春期関連問題支援者向け研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師、市立学校教職員を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30. 3. 9	摂食障がいの理解と対応	京都大学大学院 医学研究科脳病態生理学講座精神医学 講師 野間 俊一	41人

(ク) 薬物関連問題従事者研修（「薬物乱用防止に関わる教職員研修」）

全市校園の養護教諭・保健主事を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
29. 11. 10	薬物乱用と依存 薬物関連問題対策等について	こころの健康センター 医師 松浦 玲子 こころの健康センター 担当係長 大畑 有紀	241人

(ケ) ゲートキーパー専門研修

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として民生委員を対象に専門研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30. 2. 9① 30. 2. 9② 30. 3. 1① 30. 3. 1②	「うつ病とアルコール」 「悩んでいる人への対応」 ～ゲートキーパーについて～	こころの健康センター 医師 松浦 玲子 こころの健康センター 担当係長 西本 清美	2,893人

(コ) ゲートキーパー専門研修（危機介入編）

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員を対象に危機介入の研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
29. 10. 27	自殺危機初期介入スキル研修	こころの健康センター 担当係長 大畑 有紀 こころの健康センター 副主幹 井阪 純子	20人
30. 3. 7	自殺危機初期介入スキル研修	こころの健康センター 担当係長 西本 清美 こころの健康センター 副主幹 井阪 純子	20人
30. 2. 19	自殺に傾いた人への支援 ～傾聴と危機介入について～	関西科学福祉大学 社会福祉学部 都村 尚子	47人

(サ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
30.2.8	事例検討 自殺未遂者相談支援事業について 効果的な自殺未遂者対策とは 平成28年の事業報告	こころの健康センター 担当係長 坂 本 裕 子 こころの健康センター 担当係長 西 本 清 美	16人

(シ) ひきこもり相談窓口事業研修会

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29.8.22	ひきこもる人の支援を考える ひきこもり相談窓口事業について 他	医療法人 三家クリニック 院長 三 家 英 明 こころの健康センター 臨床心理職員 三 谷 大 樹	35人
29.9.27	CRAFTに基づくひきこもりの家族支援	徳島大学大学院 社会産業理工学研究所 准教授 境 泉 洋	41人

イ 精神保健福祉関係 人材養成研修

(ア) 現任研修〈全体研修〉と合同で実施

訪問看護・居宅支援事業者、精神保健福祉施設等で精神保健福祉業務に従事する職員の資質および技術の向上を目的に専門的な研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29. 9. 20	ギャンブル等依存症について	島根県心と体の相談センター長 小 原 圭 司	46人
30. 1. 30	精神障がい者の権利擁護について	浅香山病院 精神保健福祉士 柏 木 一 恵	28人

(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業

アルコール依存症は自殺のハイリスク群とされており、自殺防止の支援のために、医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・AA・アルコール関連作業所等でアルコール関連問題にかかる支援者、当事者・家族を対象に、研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29. 9. 12	アルコール依存症の基本と対応について 意見交換会 「ここが聞きたい！を話し合おう」	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤 井 望 夢	40人
29. 10. 12	女性のアルコール依存症について 事例検討・意見交換会	阪本病院 院長 大 西 英 周	41人
29. 11. 9	アルコール依存症者の支援を考えよう ～自助グループ（当事者）の立場から・回復支援施設の立場から（事例を通じて学ぼう）～	大阪市断酒連合会 事務局長 小 田 泰 仁 リカバリハウスいちご 所長 佐 古 恵 利 子	40人
29. 12. 8	高齢者のアルコール依存症について 事例検討・意見交換会	新生会病院 院長 和 気 浩 三	39人

ウ 大阪府 精神保健福祉業務従事者研修

大阪府の実施する研修の企画と運営に協力し、研修の参加について、大阪市精神保健福祉関係職員への周知を行った。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
30. 2. 7	自死遺族相談従事者養成研修 「大切な人を自死で失ったこどもの理解と支援」	龍谷大学短期大学部 教授 黒川 雅代子 カウンセリングスペースリヴ 代表 佐藤 まどか	68 人 (うち大阪市からの参加者は 11 人)

(3) 普及啓発

市民に対する精神保健福祉に関する知識や精神障がいについての正しい知識などの普及啓発を行った。

ア こころの健康講座

市民のこころの健康づくりを推進するために、こころの健康をテーマに講演会を実施した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
29. 8. 1	うつ病について知ろう	ナンバかぎもとメンタルクリニック 院長 鍵 本 伸 明	32 人
29. 9. 25	依存症について知ろう ～アルコール依存・ギャンブル依存等～	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤 井 望 夢	53 人
29. 12. 21	ストレスと向き合う ～こころの健やかな生活のために～	稲田クリニック 院長 稲 田 泰 之	46 人
30. 1. 23	よくわかる双極性障がい	かつもとメンタルクリニック 院長 勝 元 榮 一	55 人
30. 2. 20	統合失調症について知ろう ～医師の話と当事者の体験談～	大阪市こころの健康センター 医師 松 浦 玲 子 地域生活支援センターすいすい 精神保健福祉士 小 西 和 之 統合失調症当事者 2 名 (匿名)	64 人

イ こころのボランティア講座

精神障がい者の地域生活を支援する精神保健福祉ボランティアをはじめ、精神保健分野で活動する支援者を対象に、育成支援・精神保健福祉についての普及啓発を目的に講座を開催した。なお、今年度についても「こころの健康講座」と共催した。

ウ ひきこもり市民講座

市民や学校関係者等のひきこもりへの理解を深めることを目的として、2回の市民講座を開催した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
29.12.6	ひきこもり ～精神科医の視点から～	大久保クリニック 院長 大久保圭策	47人
30.1.17	ひきこもり支援の現場から ～支援者の話と当事者の声～	特定非営利活動法人 青少年自立支援施設 淡路プラッツ 精神保健福祉士 藤村泰王 ひきこもり当事者 1名（匿名）	42人

エ 思春期関連問題市民講座

思春期の子どもを持つ親、市民、教職員などを対象に、思春期のこころの健康についての普及啓発を目的に講座を開催した。

年 月 日	講座内容	講 師	参加者数
30.2.21	思春期のこころの発達について知ろう	大久保クリニック 院長 大久保圭策	23人
30.3.14	1からわかる摂食障がい	兵庫医科大学 精神科神経科 講師 山田恒	17人

オ 薬物乱用防止対策事業

覚せい剤、シンナー、危険ドラッグなどの薬物乱用防止にかかる普及啓発を目的に、高等学校の薬物乱用防止講座に講師を派遣している。

各区で実施される「成人の日記念のつどい」に参加する新成人に対して薬物乱用防止啓発用リーフレットを配布した。

年 月 日	リーフレット名	対 象 者	配 付 数
30.1.8	YES TO LIFE, NO TO DRUGS	新 成 人	18,000部

(4) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障がい者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備した。

(5) 技術支援

ア 関係機関への一般相談

各区の保健福祉センターや関係機関における対応困難事例について、精神科医師や精神保健福祉相談員・臨床心理職員などが相談、支援を行っている。

技術支援

1. 相談件数 (件)

4月	166
5月	184
6月	222
7月	107
8月	164
9月	186
10月	97
11月	145
12月	79
1月	126
2月	161
3月	146
合計	1,783

2. 新規・再相談の別 (件)

新規相談	1,737
今年度新規相談	5
今年度再相談	41
合計	1,783

3. 対象者の性別 (人)

男性	1,206
女性	557
不明	20
合計	1,783

4. 年齢別 (人)

10歳未満	1
10歳～12歳	0
12歳～15歳	18
16歳～18歳	29
19歳～20歳	20
21歳～29歳	160
30歳～39歳	336
40歳～49歳	570
50歳～59歳	304
60歳～69歳	207
70歳～79歳	52
80歳以上	16
不明	70
合計	1,783

5. 相談手段 (件)

電話相談	1,780
こころに来所相談	2
保健福祉センター面接	0
訪問相談	1
合計	1,783

6. 相談業務従事者 (人)

医師	0
PSW	1,779
心理職員	0
事務職員	4
その他	0
医師・心理職	0
医師・心理職・PSW	0
医師・PSW	0
心理職・PSW	0
医師・相談員	0
医師・相談員・事務職員	0
合計	1,783

7. 相談内容 (件)

治療に関して	10
医療機関紹介	9
情報に関して	23
でかける相談	1
医療・手帳関係	0
通報関係	1,606
制度の問題	34
近隣トラブル	3
本人への対応	48
その他	49
合計	1,783

8. 相談経路 (件)

保健福祉センター	156
支援課(生保)	6
医療機関	47
社会復帰施設	4
教育機関	2
社会福祉施設	1
老人保健施設	0
児童福祉施設	0
関係団体	1
その他	1,566
合計	1,783

9. 相談種別 (件)

老人保健	9
社会復帰	7
アルコール	4
病気に関する問題	1,571
心の健康づくり	5
薬物関連問題	84
思春期問題	7
うつ・うつ状態	0
DVに関して	0
ギャンブル	1
ひきこもり	5
自殺関連	3
犯罪被害	0
災害	0
発達障がい	3
摂食障害	0
てんかん	0
その他	84
合計	1,783

10. 援助の方法 (件)

所内カンファレンス	7
地域・外部とカンファレンス	0
地域支援会議等参加	1
相談員等に個別支援	7
GW・教室等支援	0
関係機関紹介	4
情報提供	15
助言	126
その他	1,623
合計	1,783

イ でかけるチーム精神保健相談

地域における精神保健福祉相談での複雑困難事例に対応するため、各区の保健福祉センターからの要請に基づき、こころの健康センターの専門職員によるチームを編成し、各区にでかけて事例検討、訪問及び面接等の専門的な技術援助・支援を行い、もって地域の精神保健福祉活動の向上を図っている。

平成29年度でかけるチーム精神保健相談

	電話相談	面接相談	家庭訪問	ケース会議	合 計
男 性	5	0	3	9	17
女 性	33	0	3	3	39
合 計	38	0	6	12	56

ウ 個別支援

平成29年度個別支援状況

市民の個別相談については、原則、各区保健福祉センターで対応しているが、直接、個別にこのころの健康センターに相談があった事例については、以下のように対応し、必要に応じて各区の保健福祉センターに引き継ぎ継続支援を行っている。

個別支援

1. 相談件数	(件)
4月	105
5月	129
6月	114
7月	79
8月	92
9月	89
10月	69
11月	95
12月	45
1月	64
2月	89
3月	110
合計	1,080

2. 新規・再相談の別	(件)
新規相談	732
今年度新規相談	10
今年度再相談	338
合計	1,080

3. 対象者の性別	(人)
男性	645
女性	417
不明	18
合計	1,080

4. 年齢別	(人)
10歳未満	0
10歳～12歳	2
12歳～15歳	8
16歳～18歳	22
19歳～20歳	6
21歳～29歳	89
30歳～39歳	146
40歳～49歳	338
50歳～59歳	130
60歳～69歳	68
70歳～79歳	24
80歳以上	7
不明	240
合計	1,080

5. 相談手段	(件)
電話相談	1031
こころに来所相談	12
訪問相談	37
合計	1080

6. 相談業務従事者	(人)
医師	0
相談員	1,071
心理職員	5
事務職員	4
医師・相談員	0
医師・心理	0
医師・心理・相談員	0
その他	0
合計	1,080

7. 相談内容	(件)
治療に関して	9
医療機関紹介	14
情報に関して	36
制度の問題	5
本人への対応	99
その他	917
合計	1,080

8. 相談経路	(件)
保健福祉センター	14
支援課(生保)	0
医療機関	49
社会復帰施設	0
教育機関	0
社会福祉施設	0
老人保健施設	0
児童福祉施設	0
関係団体	3
その他	1,014
合計	1,080

9. 相談種別	(件)
老人保健	4
社会復帰	6
アルコール	2
病気に関する問題	579
心の健康づくり	16
薬物関連問題	88
思春期問題	6
うつ・うつ状態	6
DVに関して	0
ギャンブル	5
その他	367
摂食障害	1
てんかん	0
合計	1,080

10. 援助の方法	(件)
助言	144
関係機関紹介	31
保健センターのフォロー	5
その他	900
合計	1,080

11. 相談区	(件)
北	51
都島	22
福島	16
此花	21
中央	33
西	9
港	8
大正	31
天王寺	34
浪速	26
西淀川	8
淀川	20
東淀川	27
東成	5
生野	25
旭	29
城東	16
鶴見	7
阿倍野	39
住之江	37
住吉	29
東住吉	48
平野	50
西成	73
不明	338
市外	16
市内だが不明	62
合計	1,080

(6) 精神保健福祉相談

ア 思春期関連問題相談

思春期は心身の変化が著しく、対人関係の悩みやストレスによる身体の症状などの問題が生じやすく、様々な不安や葛藤等に端を発して、精神障がい（統合失調症・うつ病・摂食障がい・社交不安障がい・強迫性障がい等）を引き起こしやすいことが知られている。思春期関連問題としては、不登校、家庭内暴力、非行、摂食障がい、自傷行為、性に関する問題等があり、いずれの問題も非常に複雑であることから一筋縄の対応ではうまくいかないことが多い。また、これらの問題に加えて、近年ではインターネット依存やいじめによる自殺等も大きな問題となってきている。これらに対応するため、平成12年10月から、専門の精神科医師、臨床心理職員等による個別相談を予約制で、大阪市こころの健康センターにおいて実施している。

平成29年度 思春期関連問題相談実施状況

相談件数 (件)

	合 計
実件数	30
延件数	64

対象者の内訳 (延件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合 計
男 性	8	24	15	0	0	47
女 性	1	5	10	1	0	17
合 計	9	29	25	1	0	64

相談内容 (延件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合 計
不 登 校	4	17	5	0	0	26
ひきこもり	0	0	4	0	0	4
摂食障がい	0	2	4	1	0	7
精神疾患疑い	3	0	4	0	0	7
情緒不安定	0	5	7	0	0	12
発達障がい	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2	5	1	0	0	8
合 計	9	29	25	1	0	64

※その他、思春期関連問題について、各区保健福祉センターへの技術援助を行っている。

イ 薬物関連問題相談

覚せい剤等薬物の乱用、とりわけ低年齢層の薬物乱用や、危険ドラッグの乱用者が犯罪や重大な交通事故を引き起こす事案が後を絶たず、社会問題となっている。一方、薬物関連問題についての専門相談機関は極めて少ない状況にある。

このような状況の中、大阪市こころの健康センターでは、平成12年10月から専門の精神科医師による薬物関連問題相談（予約制）を実施している。

【平成29年度 薬物関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	9	8	17
延件数	18	15	33

対象者の内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	0	2	2	5	0	0	9
女性	1	1	3	2	1	0	8
合計	1	3	5	7	1	0	17

相談者別（重複あり） (人)

本人	10
配偶者	0
両親	9
兄弟・姉妹	1
その他（知人、支援者など）	22

薬物の種類（重複あり） (人)

覚せい剤	27
大麻	6
有機溶剤	2
危険ドラッグ	2
その他（睡眠薬、向精神薬など）	8

主な相談内容

・ 家族の対応の仕方について	・ 薬物依存症はどんな病気か
・ 薬物依存症の治療について	・ 治療につなげるにはどうしたらよいか
・ 本人への治療指導を希望	・ 退院後の処遇について
・ 断薬継続のための生活上の注意について	・ 家族間の調整
・ 地域支援に向けての処遇検討	など

8. 援助方法 (件)

助言	709
他機関紹介	215
傾聴	1,370
その他	44
合計	2,338

(7) 自殺防止対策事業

全国の自殺者数は平成10年に急増し3万人を超えて以来、連続して3万人を超える状態が続いており、平成21年までは概ね年間3万人前後で推移していた。平成23年以降は一貫して減少傾向を維持しているが、依然として多い状況には変わらない。国は自殺対策基本法に基づく自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」を策定し、その中で地方公共団体をはじめ、医療機関、民間の団体等との密接な連携を図りつつ総合的に自殺対策を推進していくこととしている。

また、平成21年4月に発表された「経済危機対策」の具体的施策の中で、都道府県に当面3年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金」を造成（その後の補正予算で基金を積み増し、平成26年度まで延長。）し、平成26年度補正予算において同基金の対象を一部限定しつつ、新たに地域自殺対策強化交付金を設けて、地域における自殺対策力を強化してきた。

大阪市の自殺者数は、全国の傾向と同様に減少傾向を維持しているが、平成28年の自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺死亡者数。人口動態統計。）は21.5と政令指定都市の中では最も高い値になっており、これらの状況を受け自殺防止対策として次の事業を行っている。

ア 自死遺族相談

平成19年11月から「自死遺族相談」を開設し、自死遺族に対して臨床心理士・精神保健福祉相談員等による面接相談を実施している。

相談実施日 第1・第3金曜日、第2・第4木曜日（予約制）

平成29年度実施状況

実人数15人 延相談数76件

イ 自殺未遂者相談支援事業

自殺には多様かつ複雑な原因・背景があり、自殺未遂者を支えるためには心身の健康から社会的支援まで総合的・複合的な取り組みが必要なことから、平成21年11月から自殺未遂者への相談支援を開始した。

本事業は、警察署で自殺未遂者として取り扱った方の相談に応じ、精神科医療の必要な方は医療に繋ぎ、また心理的に追い込まれ、視野狭窄に陥るなど一時的に理解・判断ができなくなっている方に対して傾聴相談を行い適切な関係機関に繋ぎ、更なる自殺行為を防ぐことを目的としている。

開始時は市内4区（東淀川・港・城東・住吉）で試行実施し、平成22年7月から12区（前述に加え淀川・生野・鶴見・阿倍野・住之江・東住吉・平野・西成）に拡充し、平成23年1月から市内全域を対象に実施している。また、平成25年1月からは、大阪府全域で実施している。

平成29年度実施状況 受理延件数 504件

ウ ゲートキーパーの養成

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、大阪府内の大学に在学する大学生等に研修を実施している。

ゲートキーパー養成研修

年 月 日	内 容・講 師	対 象 者	参加者数
29. 8. 8	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪総合保育大学学生	117 人
29.10.26		大阪市立大学学生	70 人
29.11.28		大阪市立大学学生	214 人
30. 2.20		桃山学院大学学生	9 人
29. 7. 6	青少年の自殺について ゲートキーパーについて	大阪市立小中高校教職員	147 人

エ 自殺予防週間の取り組み

9月10日～16日の「自殺予防週間」にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成29年9月11日（月）午前8時～9時
- 2) 場 所：京橋駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成29年9月1日（金）～平成29年9月30日（土）（24時間受付）
（9月1日（金）は午前9時30分から開始、9月30日（土）は午後5時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

オ 自殺対策強化月間の取り組み

「自殺対策強化月間」（3月）にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成30年3月1日（木）午前8時～9時
- 2) 場 所：京橋駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成 30 年 3 月 1 日（木）～平成 30 年 3 月 31 日（土）（24 時間受付）
（3 月 1 日（木）は午前 9 時 30 分から開始、3 月 31 日（土）は午後 5 時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう 24 時間の集中電話
を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

カ うつ病予防の普及啓発

各種パンフレット等を作成し、「こころの健康問題」に対する意識の高揚を図っている。

キ うつ病の家族教室

家族が正しい知識を学び、病気を理解し、本人への接し方を考えるためのうつ病の家族教室（1クール2回を2クール）を開催した。また、うつ病家族の自助グループの育成を目指し、継続して交流会を行っている。

○実施状況

第1クール	実人数	23人	延参加者数	40人
第2クール	実人数	16人	延参加者数	27人

○交流会（平成29年4月～平成30年3月）

開催回数	11回	実人数	10人	延参加者数	44人
------	-----	-----	-----	-------	-----

ク 大阪市自殺対策検討連絡会議

平成21年3月から大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会と大阪市関係各担当が連携して自殺対策を推進し、施策等について協議・検討するため、大阪市自殺対策検討連絡会議を開催している。

○第15回（平成30年1月26日 大阪市役所地下1階 第8共通会議室）

- ・平成28年中における大阪市の自殺の状況
- ・大阪市自殺対策基本指針（第2次）素案について
- ・各所属の自殺防止対策の取り組みについて
- ・その他

(8) ひきこもり相談窓口事業

「ひきこもり」は様々な要因の結果として、就学や就労などの社会的参加を回避し、自宅以外での生活の場が長期にわたり失われている状態である。現在ひきこもり状態にある子どものいる世帯は、全国で約 26 万世帯と推計され、大きな社会問題となっている。

大阪市では、こころの健康センターにおいて、平成 21 年度よりひきこもり地域支援センターの運営を開始し、ひきこもり問題の早期発見・早期対応のため、情報把握、精神保健医療等のサービスの必要性の判断、必要な支援機関につなぐ等の支援を行い、ひきこもりの一次相談窓口や情報発信、関係機関との連携など、ひきこもりの相談を実施するとともにその推進を図っている。

また、対象者の相談内容等に応じた適切な支援を行うことができるよう、事例検討会や関係局会議を開催している。

ひきこもり電話相談 開設時間：平日の午前 10 時～正午

電話相談後、必要に応じ面接・訪問を行っている。

ア 平成 29 年度ひきこもり電話相談件数

1. 相談件数内訳 (件)		5. 対象者居住地 (件)		6. 相談種別 (件)	
延件数	482	北	6	不登校	17
実件数	167	都島	7	ひきこもり(第 1 群:精神)	18
2. 相談者 (人)		福島	2	ひきこもり(第 2 群:発達)	16
ひきこもり本人	45	此花	5	ひきこもり(第 3 群:PD等)	0
母	69	中央	5	ひきこもり(その他)	20
父	12	西	0	その他	96
配偶者	2	港	6	計	167
子ども	0	大正	1	7. 相談内容 (重複あり) (件)	
兄弟姉妹	19	天王寺	3	1 本人との関わり方	15
友人	0	浪速	4	2 就学・学業	4
その他	20	西淀川	4	3 就労	22
計	167	淀川	7	4 当事者の居場所	11
3. 対象者の性別 (人)		東淀川	8	5 医療機関	17
男性	113	東成	3	6 親の会	1
女性	49	生野	5	7 将来の不安	37
不明	5	旭	4	8 金銭面	0
計	167	城東	9	9 他者との交流	0
4. 対象者の年齢 (件)		鶴見	2	10 話を聞いてほしい	9
18 歳未満	17	阿倍野	9	11 他都市の情報	2
18・19 歳	10	住之江	5	12 その他	49
20 歳代	40	住吉	7	計	167
30 歳代	36	東住吉	8	8. 相談後の処遇 (件)	
40 歳代	29	平野	16	助言	55
50 歳代以上	20	西成	3	他機関紹介	55
不明	15	市内だが不明	18	傾聴	26
計	167	市外	17	面接予約	7
		不明	3	他機関との連携	3
		計	167	その他	21
				計	167

イ 平成 29 年度ひきこもり面接相談件数（延 28 回）

1. 面接相談者（延人数）		2. 面接の種別（延回数）		3. 面接結果の処遇（延回数）	
ひきこもり本人	5	不登校	5	助言	9
母	21	ひきこもり(第 1 群:精神)	0	他機関紹介	13
父	5	ひきこもり(第 2 群:発達)	8	傾聴	2
配偶者	0	ひきこもり(第 3 群:PD 等)	0	面接予約	2
子ども	0	ひきこもり(その他)	5	アウトリーチ予約	0
兄弟姉妹	3	その他	10	他機関との連携	2
友人	4	計	28	その他	0
その他	0			計	28
計	38				

ウ 平成 29 年度ひきこもりアウトリーチ（訪問支援）件数（3 件）

	10 代	20 代	30 代	40 代以上	年齢不明	延件数	実件数
男性	0	0	1	2	0	3	3
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	2	0	3	3

(9) 薬物依存症者等ケア強化事業

「あいりん地域を中心とした環境整備」(5か年計画)の一環として、平成26年度から大阪府と協働し、薬物依存症者等に特化した集中的な取り組みを実施している。

1) 専門的なケアの強化

- ① 当事者支援専門プログラム事業(大阪府単独実施)
- ② 家族心理教育事業(本市・大阪府各々実施)

2) 専門研修

- ① 関係機関職員専門研修事業(大阪府単独実施)
- ② 医療機関職員専門研修事業(大阪府単独実施)

3) 社会復帰支援の強化

- ① 地域における断薬継続促進モデル事業(本市単独実施)
- ② 当事者支援ネットワーク検討会議(大阪府単独実施)

本市としては、以下の事業を実施している。

ア 家族心理教育事業(薬物依存症者の家族教室)

薬物関連問題(依存症)に悩む人たちを支える家族のための教室(3回コース)を開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
30.2.15	薬物依存症の基礎知識と家族の対応	大阪精神医療センター 医師 仲谷佳高	5人
30.2.27	CRAFTを用いた家族の対応について①	藤井クリニック 精神保健福祉士 社会福祉士 小野史絵	1人
30.3.6	CRAFTを用いた家族の対応について②	藤井クリニック 精神保健福祉士 社会福祉士 小野史絵	2人

イ 地域における断薬継続促進モデル事業

薬物依存症者や違法薬物等使用経験者が断薬を継続できるように、また、社会復帰への意欲が高められるように、訪問(アウトリーチ)を中心とした支援を行っている。

(10) 組織の育成

地域精神保健福祉の向上を図るため、保健福祉センターにおいて、各区の自助組織・家族会・ボランティア等の育成に努めているが、これに協力するとともに、広域的な組織の育成に努めている。

(11) 精神医療審査会

平成8年4月からの精神保健福祉法の大都市特例の施行に伴い、同法第12条に基づき、大阪市精神医療審査会を設置し、平成12年4月の大阪市こころの健康センター設立により、その事務局を同センターに置いた。精神医療審査会は10名の委員で構成され2つの合議体に区分し、定期病状報告書等の審査及び退院・処遇改善請求等の審査を行い、精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保に努めている。なお、精神医療審査会の円滑な運営のために予備委員5名をおいている。

ア 開催状況

全体会議	平成30年 3月23日
合議体 審査	平成29年 4月20日
	平成29年 5月19日
	平成29年 6月15日
	平成29年 7月21日
	平成29年 8月17日
	平成29年 9月15日
	平成29年10月19日
	平成29年11月17日
	平成29年12月21日
	平成30年 1月19日
	平成30年 2月15日
	平成30年 3月16日

イ 入院届・定期病状報告の審査状況

(件)

		医療保護入院者の入院届	医療保護入院者の定期病状報告	措置入院者の定期病状報告	合計
審査件数		788	1	21	810
結果	現入院形態が適当	788	1	21	810
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0

ウ 退院・処遇改善請求の審査状況

(件)

請求件数		結果	
退院請求 (うち処遇改善請求を含む)	27 (4)	現入院形態が適当	6
		他の入院形態へ移行	3
		入院の継続は適当でない	1
		取り下げ等	17
処遇改善請求 (単独)	1	現処遇が適当	0
		現処遇が不適当	0
		取り下げ等	1

エ 実地審査状況

入院後概ね3か月を経過した措置入院患者及び実地審査の必要があると認めた医療保護入院患者等を対象に、病状及び措置に関する実地審査を実施し、精神障がい者の人権尊重を基本とした適正な医療の確保に努めている。

(件)

	審査件数	結果		対象となった 病院数
		現入院形態が適当	他の入院形態へ移行	
措置入院	12	12	0	7
医療保護入院	5	5	0	5
任意入院	7	7	0	5
合計	24	24	0	17

(12) 大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営（委員数7人）

平成18年4月1日に精神保健福祉審議会の部会として設置し、平成21年8月1日からは、組織を独立させ、審査会議として設置要綱を制定し、さらに、平成25年4月1日からは執行機関の附属機関に関する条例に基づき、大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会として設置している。自立支援医療費（精神通院）支給認定、精神障がい者保健福祉手帳の等級判定に係る審査を行う委員会の運営を行っている。

平成29年度開催回数 23 回

2 精神保健福祉主管課業務

平成12年4月の大阪市こころの健康センター開設時より、精神保健福祉主管課の業務の一部を実施している。

(1) 精神保健福祉審議会の運営（委員数 12人）

精神保健福祉法第9条第1項及び大阪市精神保健福祉審議会条例に基づき、本市の精神保健福祉施策全般について審議する大阪市精神保健福祉審議会の運営事務を行っている。

○第23回 大阪市精神保健福祉審議会

開催日：平成30年3月28日

- 議 題：① 「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況及び「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」（案）について
- ② 平成30年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ③ 地域支援調整チームからの意見に対する回答について
- ④ その他

(専門部会)

ア 自殺防止対策部会（委員数 11人）

平成20年7月1日に自殺防止対策部会設置要綱を制定し、自殺対策基本法の理念に基づき、市民が「生きやすい社会」の実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策について審議を行っている。

○第20回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成29年11月27日

- 議 題：① 大阪市の自殺の現状について
- ② 次期「大阪市自殺対策基本指針」の策定とその目標について

○第21回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成30年1月22日

- 議 題：① 「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」の素案について
- ② その他

○第22回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成30年3月19日

- 議 題：① 「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」について
- ② 平成29年度の自殺対策の実施状況について
- ③ 平成30年度の自殺対策の取り組みについて
- ④ その他

(2) 措置・緊急措置診察（入院）事業

ア 措置診察

精神保健福祉法第27条にもとづく精神保健指定医による措置診察を実施している。措置入院患者の移送については、本市職員が同乗して本市救急車で移送を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
措置診察件数 (含む本鑑定)	17	14	22	10	15	16	9	16	7	16	16	17	175
22条申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	17	12	19	8	13	14	8	12	6	15	15	16	155
24条通報	0	2	3	2	2	2	1	3	1	1	1	1	19
26条等通報	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
措置入院件数（該当）	15	12	21	8	14	14	9	14	6	15	15	14	157
非該当件数	2	2	1	2	1	2	0	2	1	1	1	3	18
要入院	1	2	1	1	0	2	0	2	0	1	1	2	13
要通院	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	5
医療不要等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 緊急措置診察

夜間・休日の対応については、緊急措置診察受付窓口を大阪府・堺市と共同で設置し、平日夜間は午後5時から翌日午前9時、休日は24時間、警察からの通報を受け付け、待機職員が緊急措置診察業務を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
緊急措置診察件数	15	16	12	5	11	13	9	8	7	8	18	12	134
緊急措置入院件数（該当）	13	12	11	4	10	10	6	8	7	6	14	9	110
非該当件数	2	4	1	1	1	3	3	0	0	2	4	3	24
要入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
要通院	2	4	1	0	1	3	3	0	0	1	2	2	19
医療不要等	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	3
緊急措置入院後の措置診察件数	14	10	11	4	10	10	6	8	6	7	11	10	107

(3) 医療保護入院等の移送事業

精神保健福祉法第34条に基づく「医療保護入院等のための移送事業」については平成12年7月から開始した。移送のための診察にあたっては各区の保健福祉センターと大阪市こころの健康センターが合同で事前調査を行っている。移送は本市の救急車で行き、大阪市こころの健康センター職員が同乗し、精神障がい者の人権に配慮した医療の確保に努めている。

【平成29年度実績 1件】

(4) 精神障がい者保健福祉手帳の交付

各種の支援サービス利用を可能にし、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進を図るために交付している。

【平成29年度末精神障がい者保健福祉手帳交付者数 33,624名】

(1級 2,628人 2級 18,367人 3級 12,629人)

(5) 市営交通料金福祉措置

平成9年10月から、市営の地下鉄・市バス・ニュートラム等の乗車料金を等級に応じた割引を実施しており、手帳所持者に乗車料金割引証または無料乗車証を交付している。

(6) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定

障害者総合支援法に基づき精神障がい者の通院医療について、医療費の一部に対し公費負担を行っている。

【平成29年度末受給者数 60,271人】

【自立支援医療費（精神通院）公費負担額 10,708,339千円】

(7) 精神障がい者地域生活支援広域調整等事業

大阪市では平成14年11月から精神科病院に長期入院中の患者の退院に向けて地域生活移行支援事業を実施してきた。平成18年4月に障がい者自立支援法が成立し、地域生活支援事業のうち精神障がい者退院促進支援事業が都道府県業務となったが、大阪市は大阪府から委託を受けて、市内9か所の地域活動支援センター（生活支援型）の自立支援員やピアサポーターとともに事業を実施してきた。

また、平成20年度に、国による「地域移行支援特別対策事業実施要綱」が制定されたことで、本市も「コーディネーターの配置」「退院促進ピアサポート事業」「体験宿泊推進事業」を特別強化策として実施し、平成21年度には、本事業のさらなる推進を図るために「精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議」を設置した。

平成24年度の障害者自立支援法の改正により地域移行支援が個別給付となっている。

ア 地域移行支援の実施状況（過去10年間）

(人)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
退 院	13	18	21	19	15	14	16	16	13	12
退院に至らず支援中止・中断	1	1	2	2	2	6	10	7	0	2
退院に至らず支援継続	34	38	32	26	17	24	18	11	8	12
合 計	48	57	55	47	34	44	44	34	21	26

(H27, 28, 29年度：H30年4月請求分までの状況)

イ ピアサポーターによる啓発活動

ピアサポーターは、入院患者や病院関係者に対し地域生活について情報提供することで、入院患者の退院意欲を高めると共に、精神科病院職員の地域移行への士気を高めることで地域移行支援等の利用を促進することを目的として実施している。

精神科病院への啓発

実施日	場所	対象者	参加者数
29. 6.22	浅香山病院	入院患者	19人
29. 7.27	浅香山病院	入院患者	19人
29. 8.24	浅香山病院	入院患者	23人
29. 9.28	浅香山病院	入院患者	16人
29.10.19	浅香山病院	入院患者	15人
29.10.24	浜寺病院	入院患者	6人
29.10.26	浅香山病院	入院患者	43人
29.11.16	美原病院	入院患者	35人
29.11.30	浅香山病院	入院患者	13人
29.12.14	浜寺病院	入院患者	7人
29.12.21	浅香山病院	入院患者	33人
29.12.28	浅香山病院	入院患者	13人
30. 1.11	浅香山病院	入院患者	32人
30. 2.22	浅香山病院	入院患者	16人
30. 2.28	こころの健康センター	地域移行支援利用者、 病院職員、地域支援者、 ピアサポーター	26人
30. 3.22	浅香山病院	入院患者	10人

市民・支援者への啓発

実施日	場 所	対 象 者
29. 7. 26	生野区保健福祉センター	患者家族
29. 7. 27	住之江区保健福祉センター	患者家族
29. 8. 17	都島区保健福祉センター	社会復帰相談指導事業利用者
29. 9. 26	淀川区保健福祉センター	患者家族
29. 10. 16	福島区保健福祉センター	関係機関職員
29. 10. 26	福島区保健福祉センター	ボランティア
29. 11. 15	鶴見区保健福祉センター	患者家族
29. 11. 21	LEC東京リカマイト`梅田駅前本校	関係機関職員
29. 11. 28	東淀川区保健福祉センター	患者家族
30. 1. 19	港区保健福祉センター	患者家族
30. 2. 1	東成区保健福祉センター	患者家族
30. 2. 3	生野区保健福祉センター	ボランティア
30. 2. 7	旭区保健福祉センター	患者家族
30. 2. 16	阿倍野区保健福祉センター	ボランティア
30. 2. 22	こころの健康センター	市民
30. 2. 28	都島区保健福祉センター	患者家族
30. 2. 28	生野区保健福祉センター	患者家族
30. 3. 2	西成区保健福祉センター	患者家族
30. 3. 9	阿倍野区保健福祉センター	患者家族

ウ ピアサポーター交流会

ピアサポーターが当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的とし交流会を行った。

実施日	内 容	場 所	参加者数
29. 6. 21	・これからの活動について ・交流会（脳活）	こころの健康センター	15人
29. 8. 9	・ピアサポーター活動の報告 ・交流会（問題解決技法）	こころの健康センター	13人
29. 10. 4	・ピアサポーター活動の報告 ・交流会（元気回復プラン）	こころの健康センター	13人
29. 11. 20	・新任期保健師との交流 ・地域交流会について	こころの健康センター	15人

エ ピアサポーター養成講座

入院患者の退院意欲を高め、社会的入院を解消していくためには、当事者の仲間であるピアサポーターの存在が極めて重要かつ有効である。地域生活移行支援事業を利用して退院し地域生活を送っている精神障がい者等でピアサポート活動を希望する者を対象とし、当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的に養成講座を開催している。平成29年度は6人修了した。

実施日	内 容	講 師
29. 9. 6	ピアサポートの持つ意義と役割	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
29. 9. 12	リカバリーについて	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
29. 9. 20	退院促進の意義と大阪の精神科病院事情	大阪精神医療人権センター 山 本 深 雪
29. 9. 26	精神科病院でのピアサポーターの関わりと地域での啓発活動	ピアサポーター
29. 10. 3	語りの効果	桃山学院大学 教授 栄 セツコ
29. 10. 24	語りの実際①	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
29. 11. 1	語りの実際②	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
29. 11. 10	語りの実践とその評価について	桃山学院大学 教授 栄 セツコ

オ 技術支援・コーディネート

内 容	訪問 (件)	電話 (件)
地域移行ケース相談	0	40
地域移行相談者への事前面接	16	
地域移行相談者ケースカンファレンス	17	
地域移行相談者への継続面接	10	
地域移行ケア会議	11	
病院訪問啓発活動及び連絡調整	18	54
病院啓発講座	17	
合 計	89	94

カ 相談支援事業への研修

障がい者基幹相談支援センターと協力し、相談支援事業所に研修を行った。

実施日	内容	講師	参加者数
29. 10. 26	・精神障がい者の支援について	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	27人
30. 3. 13	・精神障がい者の支援について	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	26人

キ 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議

精神障がい者の地域移行支援を効果的に実施し、精神障がい者の社会的入院解消を推進するため、業務の検討を行う。

実施日：平成 29 年 8 月 31 日

- 議 題：① 平成 28 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
 ② 平成 29 年度 こころの健康センターの取り組み
 ③ 平成 28 年度 精神科在院患者調査報告（速報）

実施日：平成 30 年 3 月 8 日

- 議 題：① 平成 29 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
 ② 第 5 期大阪市障がい福祉計画（案） 精神障がい関係
 ③ 平成 30 年度 こころの健康センターの取り組み

(8) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業

重大な他害行為を行った心神喪失者等に対して継続的かつ適切な医療や地域ケアを確保して、その社会復帰を促進することを目的に心神喪失者等医療観察法が平成17年に施行された。

こころの健康センターでは、保護観察所および医療機関が定例的に実施するケア会議に出席し、関係機関、各区保健福祉センターが主体的に地域処遇にかかわれるよう技術支援をしている。

平成17年7月から29年度末までの対象者は87人で、平成29年度末までに医療観察処遇終了者は76人となっている。

ア 平成29年度医療観察法対象者および支援状況

対象者 : 22人

処遇内訳: 入院処遇対象者 8人 通院処遇対象者 14人

疾病別 : 統合失調症 16人 妄想性障害 1人 広汎性発達障害 1人
双極性感情障害 2人 その他 2人

ケア会議出席: 57回

イ 医療観察法関係研修

実施日: 平成29年8月29日

テーマ: 刑の一部執行猶予制度について

講師: 大阪保護観察所 社会復帰調整官

対象: 精神保健福祉相談員

参加者: 35名

(9) 精神科救急医療体制整備事業

ア おおさか精神科救急ダイヤルの設置

大阪府・堺市と共同で相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に精神科救急医療の利用などについて、平成14年7月29日から、24時間体制で電話相談に応じることのできる「こころの救急相談」を設置していた。平成27年度より開設時間を夜間・休日とし、「おおさか精神科救急ダイヤル」に変更した。かかりつけの医療機関が診療を行っていない夜間・休日において、精神疾患を有する方やその家族の方などから、こころの病気に関する緊急時に必要に応じて精神科救急医療機関の利用について案内を行うとともに、相談のなかで医療的な判断等が必要な場合は精神科救急病院の医師の助言を求めて速やかに対応を行う。

平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）おおさか精神科救急ダイヤル利用状況

（大阪府下全域の合計件数）

(1) 相談利用

種別	件数 (件)	割合 (%)
新規	4,478	28.5
継続	10,121	64.4
不明	1,113	7.1
合計	15,712	100.0

(2) 利用者

種別	件数 (件)	割合 (%)
本人	11,965	76.2
家族その他	3,747	23.8
合計	15,712	100.0

(3) 性別

種別	件数 (件)	割合 (%)
男	6,900	43.9
女	8,256	52.6
不明	556	3.5
合計	15,712	100.0

(4) 地域

種別	件数 (件)	割合 (%)
大阪市内	6,650	42.3
府域	7,361	46.8
他府県	197	1.3
不明	1,504	9.6
合計	15,712	100.0

(5) 年齢

種別	件数 (件)	割合 (%)
10歳未満	13	0.1
10歳代	289	1.8
20歳代	1,011	6.4
30歳代	1,990	12.7
40歳代	3,534	22.5
50歳代	3,490	22.2
60歳代	2,444	15.6
70歳代	613	3.9
80歳代以上	231	1.5
不明	2,097	13.3
合計	15,712	100.0

(6) 相談内容（複数有り）

結果	件数 (件)	割合 (%)
医療関係	9,903	58.1
福祉関係	140	0.8
その他	6,997	41.1
合計	17,040	100.0

イ 精神科救急医療情報センターの設置

おおさか精神科救急ダイヤル、救急隊、警察からの相談に対して、精神科救急医療情報センターの精神保健福祉士等が医療機関と連携して受診が必要かどうかを判断し、受診が必要な場合は症状等にあった医療機関に受診を予約している。

【受付時間】

平 日 17時から翌朝9時
土曜日・休日 9時から翌朝9時

ウ 一次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センター、おおさか精神科救急ダイヤルで外来対応可能と判断された場合に、大阪市が開設している精神科一次救急診療所にて外来対応を行っている。

【受付時間】

平日・土曜日 20時から23時30分
日曜日・休日 10時から16時30分

エ 二次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで入院医療も含めた救急受診が必要と判断された場合に速やかに入院できるよう、府内の精神科病院に救急入院用病床を確保するとともに外来対応も行っている。

【受付時間】

平 日 17時から翌朝9時 , 土曜日・休日 9時から翌朝9時

○確保病床件数及び受診件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
病床確保数	1,969	1,341	1,502	2,190	2,857	2,928	3,023	3,016	3,031	3,031	3,039
入院件数	1,297	1,227	1,346	1,361	1,379	1,518	1,309	1,367	1,425	1,339	1,327
外来受診件数	481	373	458	445	436	397	384	327	334	254	265
合計	1,778	1,600	1,804	1,806	1,815	1,915	1,693	1,694	1,759	1,559	1,592

オ 身体合併症治療体制の確保

平成14年4月1日から大阪府の精神科救急医療システムで運用し、大阪府・堺市と共同で身体合併症受入病院を府下に11病院で対応している。

○身体合併症受入病院(11病院)

北野病院・大阪大学医学部附属病院・大阪急性期・総合医療センター

大阪市立大学医学部附属病院・藍野病院・関西医科大学総合医療センター・東香里病院

浅香山病院・大阪医科大学附属病院・大阪市立総合医療センター・大阪赤十字病院

○身体合併症患者の受入件数(大阪市・大阪府・堺市)

(件)

病院名	精神科 病床数	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
北野病院	12	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
大阪大学医学部附属病院	52	1	4	1	1	1	0	2	2	0	5	3
大阪急性期・総合医療センター	34	23	36	92	108	111	102	86	83	67	64	76
大阪市立大学医学部附属病院	38	2	7	3	5	6	5	1	4	4	2	2
藍野病院	600	57	75	127	74	74	73	78	70	81	118	154
関西医科大学総合医療センター	39	6	3	2	3	4	10	9	5	2	14	13
東香里病院	173	25	29	21	16	18	5	17	6	13	9	5
浅香山病院	828	63	54	61	41	45	37	37	33	46	29	21
大阪医科大学附属病院	60	15	10	9	6	8	9	9	19	14	12	19
大阪市立総合医療センター	55	9	3	8	7	9	22	24	33	23	31	38
大阪赤十字病院	42	8	7	9	4	2	5	2	4	8	8	4
合 計	1,933	212	229	334	265	278	269	265	259	270	292	335

※病床数は平成30年3月31日現在の数である。

カ 夜間・休日精神科合併症支援システム

精神科合併症患者については、医療機関での受け入れが、通常の場合に比べ時間を要している状況であり、精神科合併症患者を受け入れた二次救急病院や救命救急センター（以下、「二次救急病院等」と言う。）を支援し、救急患者をスムーズに受け入れ、その後の治療まで切れ目なく対応するために、大阪府・堺市と共同で「夜間・休日精神科合併症支援システム」を平成27年8月17日から運用している。

○ システムの稼働時間

平日夜間（午後5時から翌朝9時まで）及び休日（土・日曜日、祝日、年始・年末）

○ 輪番の合併症支援病院（精神科病院）数及びベッド数

2病院、ベッド数2床（各病院1床ずつ）

○ 利用状況（平成28年4月1日から平成30年3月31日）

（件）

	平成28年度				平成29年度			
	入院	外来	コンサルのみ	合計	入院	外来	コンサルのみ	合計
4月	9	1	13	23	10	1	12	23
5月	16	1	10	27	11	0	14	25
6月	7	0	6	13	11	2	9	22
7月	6	0	5	11	7	2	9	18
8月	10	1	9	20	7	2	15	24
9月	4	1	7	12	11	0	8	19
10月	13	2	12	27	11	2	5	18
11月	9	1	15	25	8	0	10	18
12月	4	4	8	16	6	1	6	13
1月	14	2	6	22	7	1	6	14
2月	6	1	8	15	10	4	7	21
3月	9	4	12	25	13	1	15	29
合計	107	18	111	236	112	16	116	244

おおさか精神科救急情報センター 平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）実績報告

1. 対応件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総件数	195	242	200	242	201	238	191	204	200	187	197	211	2,508

2. 相談経路

	件数
救急隊	692
おおさか精神科救急ダイヤル	746
警察	814
その他	256
合計	2,508

3. 発生地域

	件数
大阪府	1,283
大阪市	1,036
堺市	189
府外発生対象外	0
不明	0
合計	2,508

4. 対象者性別

	件数
男性	1,182
女性	1,315
不明	11
合計	2,508

5. 対応医療機関件数

(件)

浅香山	18
小曽根	6
こころあ	16
貝塚中央	56
木 島	105
久米田	141
京 阪	35
光 愛	7
国 分	164
阪 本	36
さ わ	276
結のぞみ	151
七 山	92
ねや川サナトリウム	39
阪 南	277
水 間	19
浜 寺	50
精神医療センター	7
茨 木	5
新阿武山	38
大阪さやま	11
八尾こころのホスピタル	14
関西サナトリウム	2
丹比荘	47
阪奈サナトリウム	6
ほくとクリニック	172
関西記念	25
吉 村	12
オレンジホスピタル	6
小 阪	9
榎 坂	3
新生会	5
東香里	8
合 計	1,858

6. 時間帯別入電件数

(件)

0:00～0:59	133
1:00～1:59	99
2:00～2:59	80
3:00～3:59	51
4:00～4:59	46
5:00～5:59	40
6:00～6:59	33
7:00～7:59	25
8:00～8:59	4
9:00～9:59	71
10:00～10:59	61
11:00～11:59	68
12:00～12:59	74
13:00～13:59	66
14:00～14:59	92
15:00～15:59	54
16:00～16:59	60
17:00～17:59	320
18:00～18:59	177
19:00～19:59	212
20:00～20:59	200
21:00～21:59	190
22:00～22:59	180
23:00～23:59	172
合 計	2,508

(10) 精神保健福祉に関する予算・決算業務

社会復帰施設の建設・整備以外の精神保健福祉に関する事業の予算・決算業務等を大阪市こころの健康センターで実施している。

第 3 資 料

1 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容

第1回 平成8年4月30日（火） 於；大阪コクサイホテル

審議事項

- ・大阪市精神保健福祉審議会の設置について
- ・大阪市精神保健福祉審議会条例

第2回 平成9年9月12日（金） 於；大阪第一ホテル

審議事項

- ・大阪市の精神保健福祉センターの機能のあり方について
- ・（仮称）大阪市障害者支援プランについて

報告事項

- ・平成9年度精神保健福祉関係事業について
- ・大和川病院について

第3回 平成10年9月11日（金） 於；大阪市役所

審議事項

- ・審議会の公開について
- ・大阪市障害者支援プランについて
- ・地域保健法及び地域精神保健福祉体制について

報告事項

- ・平成10年度精神保健福祉事業について
- ・精神保健福祉法の改正について

第4回 平成12年2月22日（火） 於；大阪市役所

審議事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・「（仮称）大阪市こころの健康センター」の設置と新たな地域精神保健福祉体制について
- ・大阪市内における精神科救急体制の検討について
- ・施設コンフリクトの解消に向けた基本的な考え方について

報告事項

- ・精神保健福祉法の改正について

第5回 平成13年2月8日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市内における精神科救急医療体制の整備に関する中間とりまとめ（案）」について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第6回 平成14年3月28日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・大阪市の精神科救急医療体制の整備について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・精神保健福祉に関する平成14年度新規事業

第7回 平成15年2月7日（金） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・（仮称）大阪市精神科救急医療部会の設置について
- ・新障害者支援計画の策定について

報告事項

- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第8回 平成16年3月26日（金） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の策定について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」開催状況について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成16年度予算（案）の概要について

第9回 平成17年3月28日（月） 於；大阪市立大学医学部医療研修センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の進捗状況について（報告）
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」の開催状況について（報告）
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成17年度予算（案）の概要について
- ・「心神喪失者等医療観察法」について
- ・障害者自立支援法案の概要

第10回 平成18年3月28日（火） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・障害者自立支援法案の概要について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会の開催状況について」
- ・新たな精神科救急医療体制について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成18年度予算（案）の概要について
- ・精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉審議会の取り扱いについて

第11回 平成19年3月26日（月） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成19年度予算の概要について
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービスの現状について
- ・障害福祉計画について

第12回 平成20年3月26日（水） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「自殺防止対策部会」の設置について

報告事項

- ・精神保健福祉関係平成20年度予算の概要について
- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」への部会名称変更及び開催状況について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例について
- ・障がい者福祉サービスの現状について

第13回 平成21年3月30日（月） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市自殺対策基本指針（案）」について

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成21年度予算の概要について
- ・第2期大阪市障害福祉計画について

第14回 平成22年1月21日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・会長の選出について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部改正について
- ・専門部会の再開について

報告事項

- ・自殺防止対策関係識者検討会議の報告について
- ・今後のスケジュールについて

第15回 平成22年3月26日（金） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成22年度精神保健福祉関係予算の概要について

第16回 平成23年3月14日(月) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成23年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害者制度改革等について

第17回 平成24年3月29日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪市障害者支援計画・障害福祉計画について
- ・平成24年度精神保健福祉関係予算の概要について

第18回 平成25年3月26日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成25年度精神保健福祉関係予算の概要について

第19回 平成26年3月26日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

第20回 平成27年3月31日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成27年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・大阪市障がい者支援計画・第4期大阪市障がい福祉計画（案）について

第21回 平成28年3月23日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪版新精神科救急体制（精神科合併症支援システム）について
- ・平成28年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた本市の取組みについて

第22回 平成29年3月30日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成29年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

第23回 平成30年3月28日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について及び「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」（案）について
- ・平成30年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

2 精神医療審査会

(1) 運営状況

ア 精神医療審査会の開催状況（過去10年間） (回)

		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
審	査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合	議	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

イ 入院届の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
入	院	392	573	590	670	664	672	843	771	732	788
結 果	現入院形態が適当	392	573	590	670	664	672	843	771	732	788
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 医療保護入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
定期病状報告		0	1	0	0	0	0	0	2	1	1
結果	現入院形態が適当	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ 措置入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
定期病状報告		16	29	21	17	24	39	33	22	24	21
結果	現入院形態が適当	16	29	21	17	24	39	33	20	24	21
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

オ 退院請求の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
退院請求		10	13	14	19	11	16	16	22	13	27
結果	現入院形態が適当	4	4	4	6	2	2	7	6	7	6
	他の入院形態へ移行	1	0	0	2	1	5	0	2	1	3
	入院の継続は適当でない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	取り下げ等	5	9	10	11	8	9	9	14	5	17

カ 処遇改善請求の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
処遇改善請求		0	2	1	3	4	5	1	0	4	5
結果	処遇が適当	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1
	処遇が適当でない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	取り下げ等	0	2	0	2	3	4	0	0	4	3

(2) 実地審査状況（過去10年間）

(件)

		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
審査件数		22	16	17	21	26	24	20	22	22	24
結果	現入院形態が適当	22	16	17	21	26	24	20	21	22	24
	他の入院形態へ移行	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 措置（緊急措置）診察・入院状況（過去10年間）

(件)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
申請・通報件数	197	199	246	290	294	302	373	327	343	299
22条申請	3	2	0	1	0	0	0	2	4	2
診察せず・取下げ他	0	1	0	1	0	0	0	2	4	2
措置診察件数	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
措置入院件数	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	94	99	127	134	133	121	135	131	120	88
診察せず・取下げ他	37	32	49	59	79	80	90	97	90	40
措置診察件数	57	67	78	75	54	41	45	34	30	48
措置入院件数	51	57	73	73	50	39	43	33	27	45
非該当件数	6	10	5	2	4	2	2	1	3	3
24条通報	41	30	31	31	43	36	41	26	22	23
診察せず・取下げ他	17	12	12	2	7	12	13	12	6	4
措置診察件数	24	18	19	29	36	24	28	14	16	19
措置入院件数	21	11	14	24	34	19	28	14	13	14
非該当件数	3	7	5	5	2	5	0	0	3	5
25条の2、26条通報	59	68	88	125	118	145	197	174	197	186
診察せず・取下げ他	58	68	87	124	116	143	196	174	197	185
措置診察件数	1	0	1	1	2	2	1	0	0	1
措置入院件数	1	0	1	1	2	2	1	0	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
緊急措置診察件数	150	138	135	110	122	104	98	80	105	134
緊急措置入院件数	121	125	114	93	110	90	84	69	89	110
本鑑定実施せず他	5	14	17	6	11	7	3	1	8	4
本鑑定件数	116	111	97	87	99	83	81	68	80	107
該当件数	102	91	81	75	87	75	74	56	72	98
非該当件数	14	20	16	12	12	8	7	12	8	9
非該当件数	29	13	21	16	12	14	13	11	16	24

※ 同年度において「緊急措置入院件数＝本鑑定実施せず＋本鑑定件数」となっていない年度があるのはその年度末の緊急措置診察の本鑑定を翌年度に行っているため。

大阪府下の精神科病床を有する病院（平成29年6月末日現在）

	病 院 数	指定病院数	精神科病床
大 阪 市 内	7病院	4病院	235床
堺 市 内	6病院	4病院	2,762床
大 阪 府 下 (大阪市・堺市を除く)	50病院	38病院	15,890床
合 計	63病院	46病院	18,887床

大阪市内の精神科病床を有する病院（平成29年6月末日現在）

		病 院 名	精神科病床
大阪市内	国立病院	大阪医療センター	4床
	府立病院	大阪急性期・総合医療センター	34床
	指定病院	大阪市立総合医療センター	55床
		大阪市立大学医学部附属病院	38床
		ほくとクリニック病院	50床
		大阪赤十字病院	42床
	そ の 他	北野病院	12床
合 計			235床

4 精神障がい者保健福祉手帳交付状況（過去10年間）

(人)

年度		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
等 級	1 級	2,215	2,376	2,547	2,668	2,722	2,733	2,672	2,721	2,727	2,628
	2 級	9,659	10,775	11,961	13,354	14,313	15,016	15,772	16,964	17,776	18,367
	3 級	3,512	4,200	4,814	5,337	6,361	7,737	9,287	10,056	11,134	12,629
交付数 計		15,386	17,351	19,322	21,359	23,396	25,486	27,731	29,741	31,637	33,624

5 精神障がい者保健福祉手帳所持者数

(29年度末現在)

(人)

区	等級	1級	2級	3級	計
北		60	476	418	954
都島		89	582	416	1,087
福島		44	232	177	453
此花		96	368	295	759
中央		39	349	277	665
西		51	342	267	660
港		67	547	390	1,004
大正		85	502	311	898
天王寺		48	304	257	609
浪速		74	455	407	936
西淀川		66	447	366	879
淀川		155	1,085	635	1,875
東淀川		133	1,432	993	2,558
東成		61	573	355	989
生野		162	987	603	1,752
旭		132	674	470	1,276
城東		149	1,074	617	1,840
鶴見		90	650	339	1,079
阿倍野		82	646	396	1,124
住之江		115	820	574	1,509
住吉		186	1,330	914	2,430
東住吉		153	1,165	751	2,069
平野		294	1,875	1,211	3,380
西成		197	1,452	1,190	2,839
合計		2,628	18,367	12,629	33,624

7 自立支援医療費（精神通院）
受給者数

(29年度末現在)(人)

区	受給者数
北	2,043
都島	1,997
福島	985
此花	1,356
中央	1,409
西	1,271
港	1,744
大正	1,602
天王寺	1,246
浪速	1,748
西淀川	1,700
淀川	3,753
東淀川	4,941
東成	1,811
生野	3,139
旭	2,338
城東	3,443
鶴見	1,972
阿倍野	1,989
住之江	2,624
住吉	4,352
東住吉	3,354
平野	5,246
西成	4,208
合計	60,271

6 自立支援医療費（精神通院）受給者数状況（過去10年間）

(人)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
受給者数	35,056	37,842	41,313	43,878	46,918	49,419	52,086	54,446	57,497	60,271

8 保健福祉センターにおける相談指導の状況

(平成29年度実績) (人)

	面接相談		電話相談	訪問指導		精神保健福祉 相談 合計 ①+②+③
	実人員	延人員①	延人員②	実人員	延人員③	
北	266	1,306	1,369	61	159	2,834
都島	157	445	426	48	106	977
福島	102	354	207	43	110	671
此花	214	1,075	1,365	83	175	2,615
中央	119	511	434	52	159	1,104
西	180	664	695	68	144	1,503
港	208	938	1,015	80	254	2,207
大正	206	1,480	856	61	116	2,452
天王寺	150	476	466	54	90	1,032
浪速	140	599	670	59	237	1,506
西淀川	130	503	515	20	97	1,115
淀川	208	724	906	93	142	1,772
東淀川	361	1,019	1,288	139	306	2,613
東成	131	431	707	50	375	1,513
生野	208	949	436	85	212	1,597
旭	85	290	340	46	141	771
城東	188	528	888	39	107	1,523
鶴見	178	763	635	65	271	1,669
阿倍野	188	816	750	57	180	1,746
住之江	144	328	726	78	161	1,215
住吉	177	756	2,113	130	334	3,203
東住吉	425	1,321	634	109	214	2,169
平野	285	1,423	1,921	114	322	3,666
西成	454	2,214	1,974	115	304	4,492
合計	4904	19,913	21,336	1749	4,716	45,965

9 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況

(平成29年度実績)

	一般クリニック		
	回数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	29	43	68
都 島	32	58	69
福 島	35	54	88
此 花	24	39	70
中 央	21	36	51
西	23	51	58
港	23	44	58
大 正	38	36	85
天 王 寺	23	36	52
浪 速	23	39	56
西 淀 川	24	50	53
淀 川	41	69	107
東 淀 川	43	90	116
東 成	33	54	69
生 野	23	54	66
旭	20	24	50
城 東	34	71	89
鶴 見	22	35	80
阿 倍 野	36	41	86
住 之 江	20	41	70
住 吉	26	42	71
東 住 吉	42	97	136
平 野	31	82	98
西 成	39	70	131
合 計	705	1,256	1,877

10 保健福祉センターにおける日常生活向上教室・生活技能訓練教室の状況

(平成29年度実績)

	日常生活向上教室					生活技能訓練教室				
	回数	実人員		延人員		回数	実人員		延人員	
		男	女	男	女		男	女	男	女
北	12	8	0	52	0					
都島	12	7	9	45	39	12	8	7	55	47
福島	12	4	1	29	6	12	9	4	65	15
此花	12	4	2	40	16					
中央	12	2	4	23	19	12	2	8	22	36
西	12	3	4	23	14					
港	12	5	8	48	51					
大正	12	6	1	52	7					
天王寺	12	3	2	29	14	12	10	4	73	30
浪速	12	8	8	46	52					
西淀川	12	3	2	27	13					
淀川	12	4	5	37	26	12	7	8	43	53
東淀川	12	9	10	57	59					
東成	12	2	3	23	33					
生野	12	12	2	68	18					
旭	12	4	2	32	12					
城東	12	3	3	25	26					
鶴見	12	4	6	33	44					
阿倍野	12	7	4	55	19					
住之江	12	4	1	24	3					
住吉	12	3	1	24	2	12	4	1	34	6
東住吉	12	3	3	31	22	12	7	6	63	47
平野	12	3	10	23	42					
西成	12	7	1	54	5					
合計	288	118	92	900	542	84	47	38	355	234

11 保健福祉センターにおける酒害教室の状況

(平成29年度実績)

	酒 害 教 室		
	回 数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	12	28	110
西	9	34	93
港	12	54	166
大 正	12	66	190
西 淀 川	11	35	127
東 淀 川	10	44	110
生 野	24	66	313
鶴 見	12	45	134
阿 倍 野	10	42	167
東 住 吉	23	54	262
平 野	11	48	194
西 成	23	63	351
合 計	169	579	2217

大阪市こころの健康センター所報
(平成29年度)

発行 大阪市こころの健康センター
〒534-0027
大阪市都島区中野町5丁目15番21号
都島センタービル3階
電話 06-6922-8520